

『トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会』



第7回 開催報告

記事

座談会の趣旨

現地見学会を行いました！
水辺づくりに関する話し合いを行いました！
これまで経緯と計画（案）
みなさんの意見の整理

開催日時：平成 21 年 10 月 12 日(月：(祝)) 13:00～17:15
場所：道の駅（芸能とトキの里）
参加者：総勢 34 名（住民 18 名、学識者 2 名、関係機関 5 名、事務局等 9 名）
座談会進行役：桑子敏雄（東京工業大学大学院 社会理工学 研究科 教授）

座談会の趣旨

新潟県は、「トキと人の共生を目指した水辺づくり」を行うため、座談会を開催しています！

新潟県は、トキの野生復帰を川づくりの面から支援するという観点から「佐渡地域河川（国府川水系他）自然再生計画」を作成しました。

この自然再生計画に示された取り組みを具体化するためには、地域の皆様の協力が不可欠と考えています。そこで、地域の皆様から率直なご意見をいただく場として、座談会を開催しています。

皆様のご意見・ご要望を取り入れ、計画に反映したいと考えております。ぜひご参加下さい！

座談会のルール

- ルール 1：座談会の議論と合意にもとづいて県は事業を進めます。
- ルール 2：座談会は誰もが自由に参加し、発言できる話し合いの場です。
- ルール 3：座談会では、地域の将来をみんなで建設的に話し合います。
- ルール 4：地域の幅広い意見を聴き、その意見を座談会の議論に反映させます。
- ルール 5：専門家からアドバイスを受け、座談会の議論に反映させます。

現地確認を行いました！

天王川河口部及び、中流部の現地確認を行いました！

地域の皆さんに、天王川の状況を把握していただくため、現地見学会を行いました。

現地見学会は、河口部周辺と中流部周辺の状況確認を行いました。

現地では、平成 21 年 6 月に実施した河口部土砂取り除き工事や、中流部川底の段差解消工事とその効果について、報告しました。

トキのいる中流部付近の現地確認では、予定コースを変更し、バスの中からトキを観察することができました。

子供たちは、ドジョウが川と水田を行き来するための水路や、ピオトープ内の様々な生き物、流域内に飛来したトキ 4 羽等、興味津々な様子でした。

環境省の方には、放鳥後のトキについて説明をしていただきました。

河口部の状況



ピオトープの状況



中流部ピオトープの状況



ドジョウ用 水路の状況



水辺づくりに関する話し合いを行いました！

トキの動向を見ながら、今後の進め方を検討します！

これまでの座談会では、主に河口部についての話し合いでしたが、今回中流部を含めた話し合いを行いましたので、その内容についてご報告します。

話し合いでは、佐渡の将来を担う子供達（7 名）が、天王川水辺づくりのあり方について、大人と議論を行い、「多様な生物が生息可能な水辺づくりをしてほしい」等の意見が出されました。



話し合いの様子

話し合いの結果、次の事項を考えながら、今後の水辺づくりを進めることとなりました。

- ・河口部の土砂への対応。
- ・ピオトープ。
- ・環境面・治水面の両方を考慮した川の形状。
- ・中流部の休耕田の活用。
- ・維持管理の方法。
- ・多様な生物の生息環境。
- ・山・水田・川・湖など、様々な環境のつながり

今後、これらの意見を反映した天王川水辺づくり計画を検討し、専門の先生方の意見を伺います。

次回座談会は、専門の先生方の意見を反映した、天王川水辺づくり計画案を皆さんにご報告します。

次回も皆様のご参加をお待ちしております。ぜひご参加いただき、計画案への意見を出してください！

天王川流域には、トキが生息していることを踏まえ、トキの状況を見ながら、生息環境に充分注意し、今後の進め方を検討します。

これまでの経緯と計画案

これまでの天王川河口部の議論から、 今後、中流部の議論も行います！

これまでの座談会は、昨年（H20.3.22）から議論を重ね、河口部から再生を行うことになりました。

第5回（H21.5.21）では、天王川河口部の堆積土砂を取り除く工事について合意され、第6回（H21.8.10）では土砂取り除き工事完了の報告を行いました。

第6回では、今後中流部の水辺づくりについての議論を行うことが決定されました。

質問・疑問にお答えします。

質問・疑問等ありましたら、最下段に記載する問い合わせ先にご連絡ください！

これまでの開催報告について

H P に開催報告を掲載しております。

「http://www.pref.niigata.lg.jp/sado_kikaku/toki.html」

天王川河口部自然再生 形状(案)



みなさんの意見の整理

子供達の意見もたくさん出ました！

話し合いでは、フセンに要望・意見等を記入し、コメントの対象となる場所（地形図）に貼ってもらい、その後、意見を発表してもらいました。主な意見を以下に整理します。

あそこは、こうしてほしいな



河口部の土砂について

- ・河口部に土砂が溜まるのが心配。（子供、佐渡中等教育学校教員）
河口部には、土砂堆積の対策として、内湖の設計を進めています。内湖には、ヨシ原を復元するので、ヨシ原により土砂を溜める効果があると考えています。（新潟県 佐渡地域振興局）

ビオトープについて

- ・ヨシが多すぎるので、ヨシを少し残して生き物が生息できる範囲を広げてほしい。（子供、地域住民）
- ・ビオトープ設置の目的がわからない。（佐渡中等教育学校教員）
圃場整備時に、周辺に耕作放棄の水田があったため、一箇所に集めて利用する方法として、ビオトープ整備を行いました。目的には、生き物観察も考えていたが、ヨシの管理が困難な状況です。（佐渡市 農林水産課）
計画案では、霞堤を設置し、ビオトープと加茂湖水をつなげるようにしています。これは、潮位変動を利用し、ビオトープ水面幅を広げ、ヨシ植生範囲を狭めることで維持管理を容易にしようとするものです。（事務局）

川の形状について

- ・現在の川幅では、整備効果にも限界あるため、川幅を広げる必要があるのではないか。（佐渡中等教育学校教員）
川幅を広げることは、環境面・治水面の両方を考慮した川の形状を検討していきたいと思います。（事務局）

休耕田の活用について

- ・周辺の農地（休耕田）を取り込んで、遊水地やビオトープに利用してはどうでしょうか。（子供）

維持管理について

- ・自然再生後の維持管理を考慮し、管理しやすい計画や、管理が少なくなる方法を考える必要がある。（地域住民）

生き物の生息環境について

- ・トキを観察しやすい場所を整備してほしい。（環境省）
- ・トキやホタルの生息しやすい川にしてほしい。（子供）

山・水田・川・湖、様々な環境のつながりについて

- ・周辺の山は、荒れている状態です。生物生息には、山が健全であることも重要で、山の手入れは大事。（地域住民）

問い合わせ先 新潟県佐渡地域振興局地域整備部 担当 佐々木（計画調整課）

TEL：0259-74-4040

FAX：0259-74-2048

Email：sasaki.tadashi2@pref.niigata.lg.jp